

《単位互換提供科目詳細》

* 科目 No. 1823

科目概要記入欄

1. 開設大学名	広島修道大学		科目開講 キャンパス			
2. 科目名	正式科目名	リテラシー形成特殊講義 (環境観測のための物質科学序論)			クラス名	
	副題				配当年次 1・2・3・4	
	旧科目名				受入学年 1・2・3・4	
	学問分野	番号	43	名称	環境	
	サテライトで開講される科目の科目群			A 群	B 群	
3. 担当教員名	川村 邦男					
4. 単位数	2 単位		5. 開講学期	後期		
6. 開講期間 曜日・時間	2015 年 9 月 16 日 (水) ~ 2016 年 1 月 20 日 (水) 水曜日 10 : 45 ~ 12 : 15					
個別開講日	1 回目 9/16	2 回目 9/30	3 回目 10/7	4 回目 10/14	5 回目 10/21	6 回目 10/28
	7 回目 11/11	8 回目 11/18	9 回目 11/25	10 回目 12/2	11 回目 12/9	12 回目 12/16
	13 回目 12/23	14 回目 1/6	15 回目 1/13	16 回目 /	試験日	1/20
7. 基礎知識の有無	②. 「基礎知識を必要としない科目」					
8. 募集人数 (総授業定員)	10 人 (人)		9. 定員超過時の 選考方法	出願書類による選考		
10. 科目内容・ 授業計画	<p>様々な社会問題に対して有効な対策を実践するためには、自然科学の基礎は不可欠です。この科目では物質という自然科学的観点から環境を考えるための基礎を学びます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス・自然科学と工学 2. 物質とエネルギーⅠ (物質世界の成り立ち) 3. 物質とエネルギーⅡ (科学的単位) 4. 物質とエネルギーⅢ (エネルギーと電磁波) 5. 化学の基礎Ⅰ (化学反応) 6. 化学の基礎Ⅱ (化学反応) 7. 化学の基礎Ⅲ (化学反応と核反応の違い) 8. 環境問題の現象理解Ⅰ (水環境の現象理解) 9. 環境問題の現象理解Ⅱ (酸性雨の現象理解) 10. 環境問題の現象理解Ⅲ (オゾン層破壊の現象理解) 11. 環境問題の現象理解Ⅳ (化石燃料に関わる現象理解) 12. 環境問題の現象理解Ⅴ (食糧需給とリサイクルの現象理解) 13. 環境問題の現象理解Ⅵ (原子力発電の現象理解) 14. 環境問題の現象理解Ⅶ (放射能汚染の現象理解) 15. 全体のまとめ・授業アンケート 					
11. 試験・評価方法	プレゼンテーションとそれに対する質疑・討論、小テスト・小レポートなどの提出物 (合計 60%) とともに、期末試験 (40%) を評価し、全体で 60% 以上のポイントを獲得した者に単位を認定する。出席が 8 割に満たない者は X 評価とします。					
12. 別途負担費用						
13. その他特記事項	履修期間には生活に身近な環境を、化学を中心とする自然科学的視点で眺めることを心がける。疑問に感じたことを、授業やオフィスアワーで質問することが必要である。短時間のプレゼンテーションを行い、討論に参加する形式で授業を行うので準備を必要とする。					
14. サテライト科目 の社会人受講につい て	科目等履修生 (単位付与) として受け入れ			可	否	
	聴講生 (単位認定不要) として受け入れ			可	否	